

- Windows タブレット
- SKYMENU Cloud

<題材名>

教材名「ブランコ乗りとピエロ」

ねらい

サムを憎む気持ちが消え、サムを認めたピエロの気持ちを考えることを通して、相手のよさを認めたり自分の言動を謙虚に振り返ったりしたことで相手を受け入れる気持ちが生まれることに気づき、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重しようとする心情を養うことができる。

主なICTの活用方法

- ・価値に関わる内容について、事前にポジショニングの機能を活用して調査する。それを導入時に提示し、学級の実態を共有したうえで、本時の学びにはいる。
- ・自己の生き方を深く考えられるようにするために、既習の教材での自己の振り返りを見直す。

ICTを通じて育成する資質・能力

- ・様々な事象に対して、一人一人多様な感じ方や考え方をすることを理解し、仲間の考えを受け入れながら学習することができる。
- ・これまでの学習での自己見つめを振り返り、自己の生き方について深く考えることができる。

実践の概要

本教材の内容項目は、「B11 相互理解、寛容」である。

本時の導入で、事前にポジショニングの機能を活用して調査した「友達と意見が分かれたときにどうするか」についての回答を児童に示し、学級全体で共有する。児童一人一人によって、多様な感じ方や考え方をすることを大切にしながら、本時の教材にはっていく。

展開前段では、大型テレビに場面のイラスト等を提示したり、児童の考えをキーワードとして整理したものを表したりして話し合う場面の様子を一層捉えられるようにする。それらを基に、登場人物の心情等を多面的・多角的に考えていく。

展開後段では、話し合いを通して本時の価値のよさや意義を捉えたうえで、本時の学習を振り返る。これまでの学習で振り返ってきたことを見直ししながら、じっくりと自己見つめ、自己の生き方について深く考えていくことができるようにする。

児童の学びの様子

- 導入で提示した調査の結果を全体で確認した。大型テレビで提示するだけでなく、児童一人一人のタブレット端末上でも見ることができたため、児童は自分の考えとの共通点や相違点を確かめながら、人によって感じ方や考え方が異なることを受け止めることができた。
- 話し合いを通して本時の価値のよさや意義を捉えたうえで、自己を振り返っていく。その中で、仲間と共に多面的・多角的に考えてきたことだけでなく、タブレット端末上に保存してあるこれまでの学習で行ってきた自己見つめの内容を振り返り、自己の生き方についての考えを深めることができた。



指導のポイント

- ポジショニングの機能を活用して価値に関わる事前の調査を行うことは、提示された項目を選択することでは表現できない児童の実態を捉えるうえで効果的である。また、自他の選択した結果の共通点や相違点を基に、他者の思いを受け止めていく素地を養っていくという面でも有効であると言える。
- 協働学習支援ツールを活用して自己の振り返りを蓄積していくということは、児童が自己をじっくりと見つめるうえでも、教師が児童の様子を把握するうえでも有効である。児童の実態や学級の現状、学習する価値によって、振り返りの内容を他者と共有するかを吟味していくことも重要である。